

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時	令和7年2月16（日） 9時15分～10時15分			
場 所	碧南市役所 談話室3			
出席者	申込団体	トレジャーハンター	人数	14人
	碧南市	小池市長、環境課長		
テーマ	環境問題・市内のゴミ拾い活動について			
(概要)	一人一人がゴミを持ち帰ることが当たり前になるために、私たちにできることは何か一緒に考えたい。			

要旨

まちがきれいになるためにはどうしたらよいか、環境美化活動を通して気づいたことなどの意見交換を行った。

主な意見は以下のとおり。

- ・ゴミ拾いの活動に参加して意識に変化が生まれた。車を運転している際には気づかなかったが、たばこの吸い殻が多いと感じた。
- ・携帯用の吸い殻入れを配布、たばこセットで販売するなどして、持って歩いてもらうようにしてはどうか。
- ・条例でたばこの吸い殻のポイ捨てを禁止してはどうか？
- ・以前は近所のお年寄りの方が清掃活動を行っていた。このような当り前の活動を受け継いでいくことが大切である。
- ・汚い場所にはゴミが捨てられやすく、きれいな場所には捨てられにくい。
- ・ゴミが袋ごと捨てられている場合もあるため驚いた。
- ・市によってゴミの処理方法が違うため、ゴミの分別方法が理解されていないのでは？ゴミの分別が面倒なのかもしれない。
- ・資源ゴミの分別が始まる時には地域での説明会が行われたので理解できていた。最近転入する方は、分別方法の紙をもらうだけなので、理解できていない可能性がある。
- ・毎月1回、塩浜事務所で行われている資源ゴミ収集を知らない人は多いと思う。もっと周知してもよいのでは。
- ・コンビニや民間事業者の集積場が都合の良いゴミ捨て場になっている。
- ・道路にゴミが落ちていることが気になり、ゴミを拾おうという気持ちがあっても一歩踏み出せない人が多いのでは？何かきっかけが作れるとよい。
- ・ゴミ拾い活動を通して子育てにも役立っている。
- ・参加している子供たちも、ゴミ拾いを楽しんで行っている様子である。（楽しいという気持ちが勝っている。）
- ・家族、親族以外の大人とのコミュニケーションの場にもなっている。

(市長総括)

- 家の前をきれいにするなど、一人一人ができることを行うことで街がきれいになっていく。
- ボランティア活動がコミュニケーションの場になっている。大人がボランティア活動を行っている姿を子供に見せることも大切である。

(対話の様子)

- 市内のごみの状況について、ボランティア活動の際に気づいた点や日常生活で感じた点などの意見交換が行われていた。